### 平成25年度 学校評価を終えて

神港学園では学校教育法の改正を契機として、学校評価(以下自己評価の 実施・公表、生徒・保護者の評価・公表)を実施する制度を構築してまいりま した。 アンケート調査は今回で6回目になります。

学校評価の目的は「各学校が自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図ること。」が学校評価ガイドラインの中に明記されています。本学園は「教育目標」、「学校生活」、「学習指導」、「生徒指導」及び「進路指導」の5項目について生徒・保護者・教員にアンケートを行い、客観性を高める工夫をいたしました。

教育目標である「品位のある生徒」・「規律正しい生徒」・「持久力のある生徒」 の育成のために、平成25年度も、「あいさつができる」・「基本的生活習慣を 身につける」・「基礎学力を身につける」・「進路実現を図る」ことを指導の柱に 据え、「社会で活躍する人材の育成」に取り組んできました。

また、教員各自の授業力・指導力の向上のため、校内研修の実施、校外研修にも積極的に参加しています。さらには、平成20年度より実施の教職員の自己評価(年度初めに指導目標を定め、年度末に自己総括)を実施して、より授業の創意・工夫に努め、生徒・保護者から信頼される教師を目指しています。

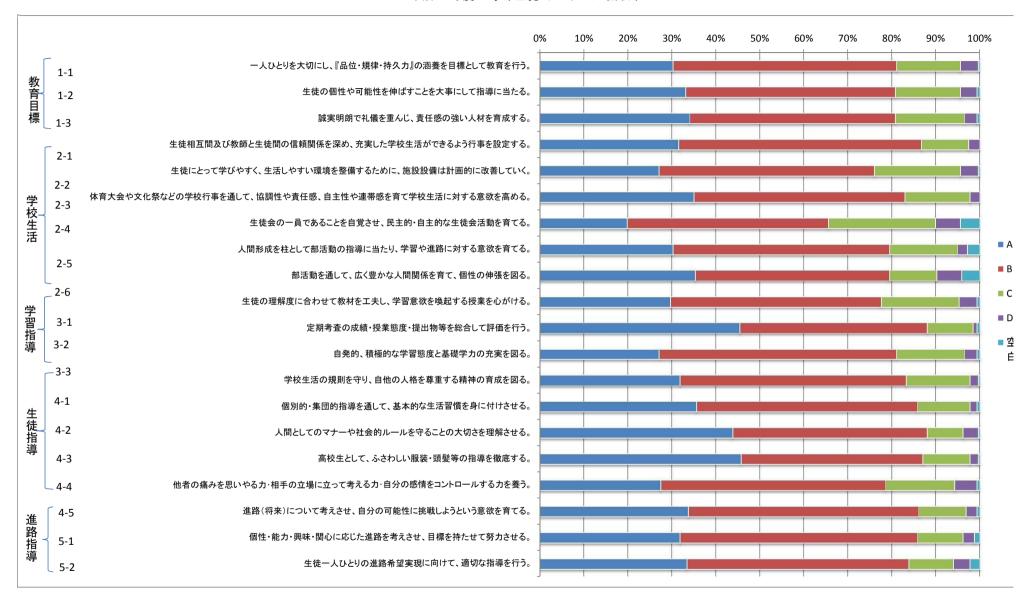
平成25年度全学年の生徒、保護者、教職員を対象にアンケートを実施しました。回答いただきました学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。最初に質問した「教育目標」については、生徒・保護者の多くに肯定的な評価をいただきましたが、その他の質問を通じていくつかの課題も浮かび上がってまいりました。これからも自己点検・評価を通して課題には真摯に向き合い、改善し、質の高い教育を生徒に提供し、活気ある学園、信頼される学園を目指していく所存です。学校関係者評価も実施し、より良い学校にしていくためにこの評価をもとに平成26年度に向けて、基礎基本の徹底と共通認識・協働実践を目標にしていきたいと考えております。

このアンケート集計結果を学校からの情報発信の一つとして見ていただき、 今後とも本校の教育について、ご理解とご協力をお願いいたします。

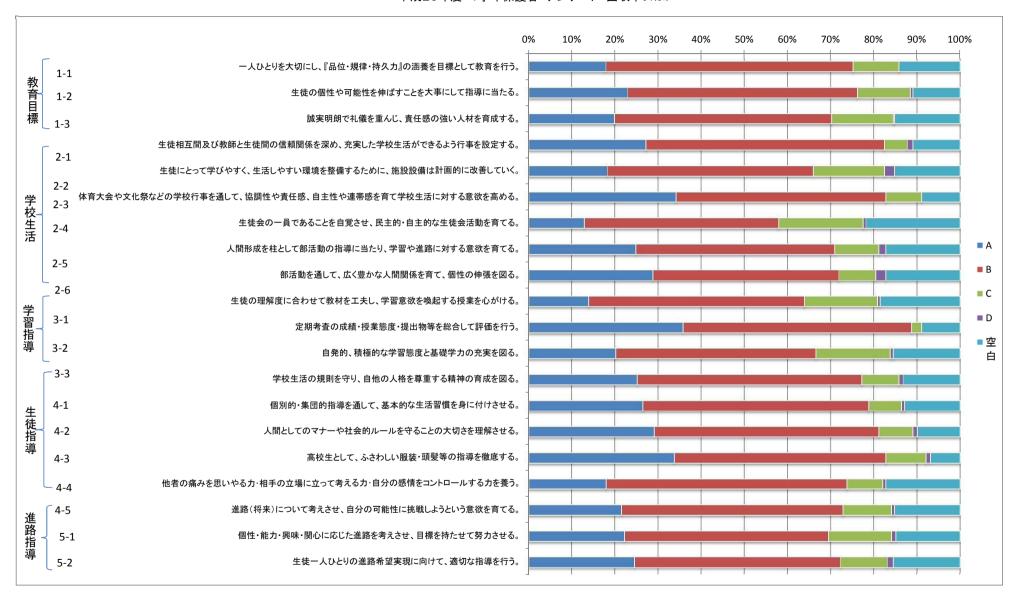
平成26年5月20日

神港学園神港高等学校校 長 増尾 禮二

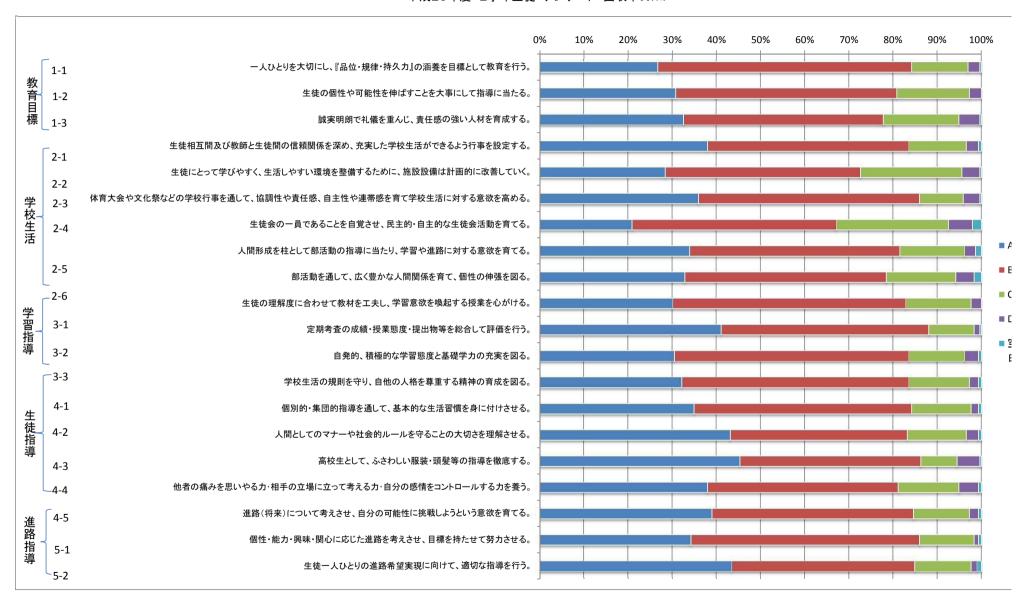
#### 平成25年度 1学年生徒 アンケート 回収率100%



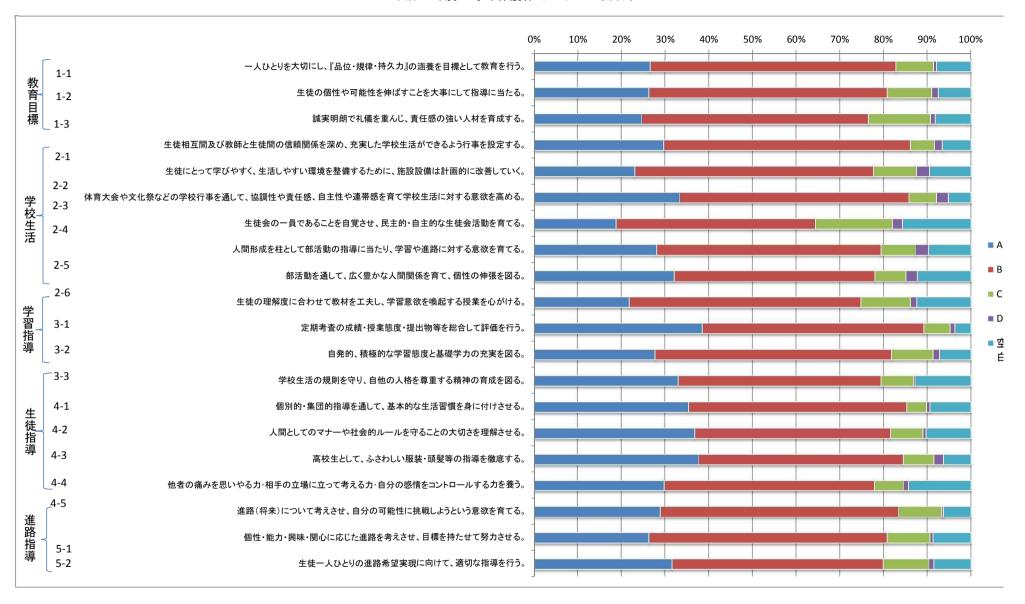
#### 平成25年度 1学年保護者 アンケート 回収率91.5%



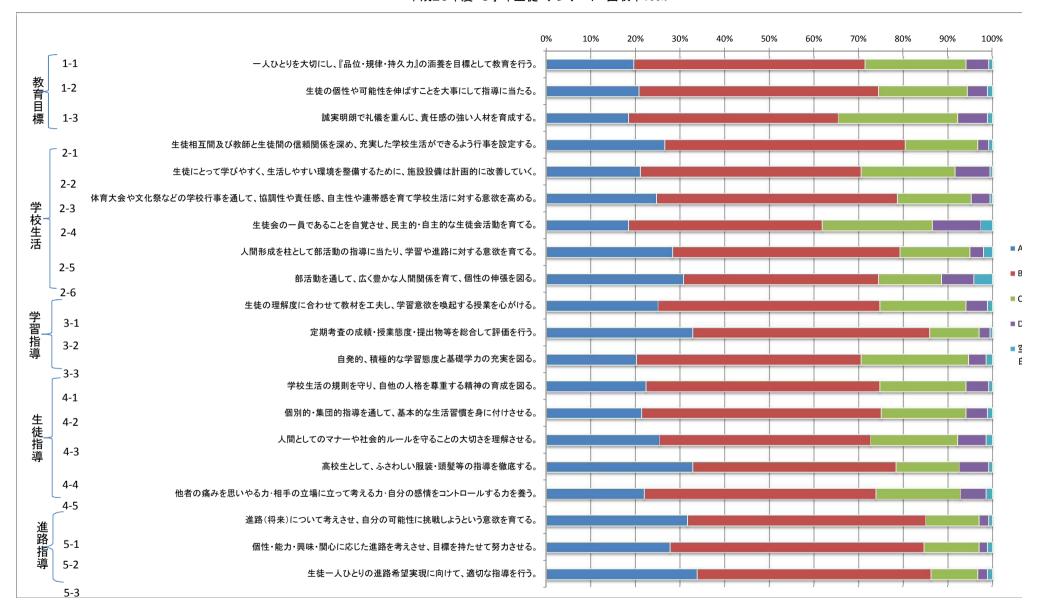
#### 平成25年度 2学年生徒 アンケート 回収率95.1%



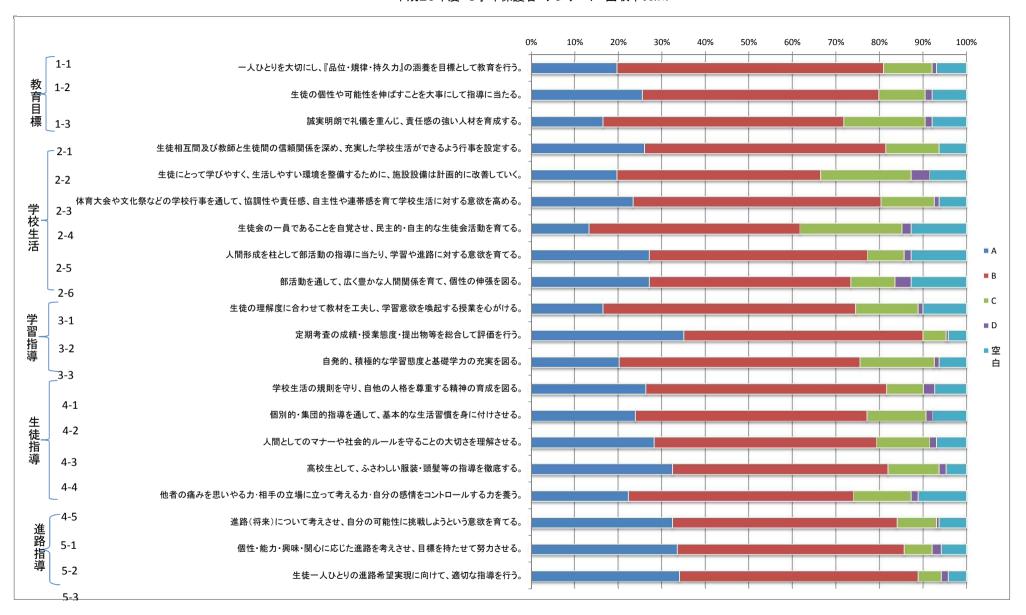
#### 平成25年度 2学年保護者 アンケート 回収率84.7%



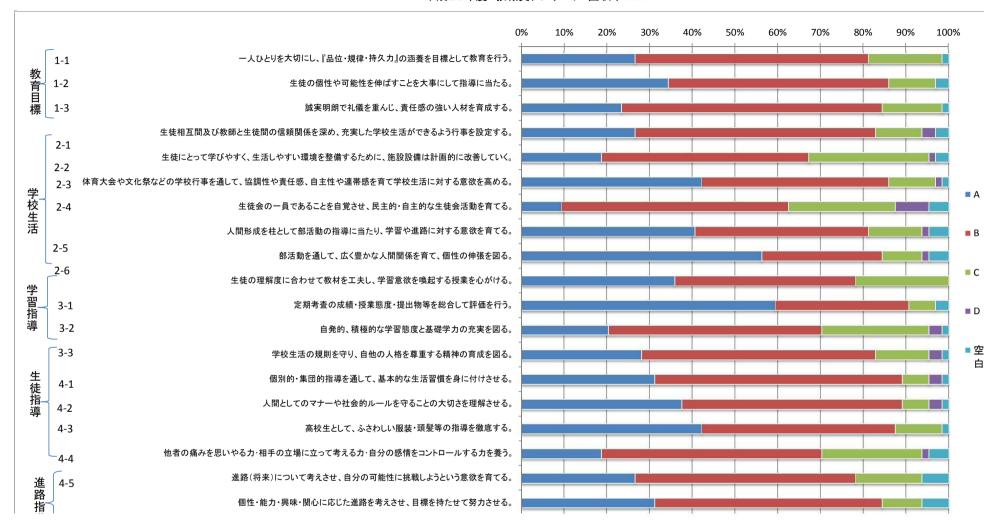
#### 平成25年度 3学年生徒 アンケート 回収率100%



#### 平成25年度 3学年保護者 アンケート 回収率56.7%



#### 平成25年度 教職員アンケート 回収率100%



いが肯定的な意見

学校関係者評価に対しての本年度の参考資料2

本校での自己評価及び関係者評価において次の1~5の5項目です。

## 1. 教育目標3項目

3つの校訓を目標に、神港学園の生徒であることに自信と誇りを持つ生徒を育てる。

1-1 一人一人を大切に、校訓「品位・規律・持久力」を目標として教育する

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
1-1	3年	71%	3年	81%	
1-1	2年	84%	2年	85%	] 肯定的な意見
1-1	1年	81%	1年	75%	日に別る忌丸
1-1			教職員	85%	
1-2 生徒の個性や可能性を伸ばす指導					
1-2	3年	74%	3年	80%	
1-2	2年	81%	2年	83%	1年保護者が若干低

1-2	1年	81%	1年	76%
1-2			教職員	90%
1-3	誠実明朗で	礼儀を重んじ、責	責任感の強い人材	を育てる

1-3	3年	65%	3年	72%	3年生徒と保護者が若
1-3	2年	78%	2年	79%	干低いが平成26年度 から礼儀・服装等の基
1-3	1年	81%	1年	70%	礎基本への徹底指導を
1-3			教職員	89%	実践している

1年

### 2. 学校生活6項目

学校生活においては、生徒間・教師間の信頼関係を深め、行事を通して、協調性 ・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高め、その為に必要な施設 設備を改善し、部活動を通じて、広く豊かな人間関係の育成目指す。

生徒間・教師間の信頼関係を深め、充実した生活が出来るように行事の設定

質問項目番号       学年等       生徒評価 AHB%       保護者教職員 AB%       保護者教職員 AB%       総合評価         2-1       3年       80%       3年       90%       生徒と教師の信頼関係は十分出来ている         2-1       1年       87%       1年       83%       係は十分出来ている         2-1       大学びやすく、生活しやすい環境整備のための施設設備の計画的改善       2-2       3年       70%       3年       67%       環境整備、施設等に関しては、若干不十分との評価である         2-2       2年       73%       2年       79%       関しては、若干不十分との評価である         2-2       1年       76%       1年       66%       分との評価である         2-3       3年       79%       3年       80%       連帯感の意識等に関しては、若干不十分との評価である         2-3       3年       79%       3年       80%       連帯感の意識等に関しては、十分と思われる         2-3       1年       83%       1年       83%       1年         2-3       1年       83%       1年       83%       1年         2-3       1年       83%       1年       83%       2年         2-4       社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動       2・生徒が生徒会の一員であるとの認識がからないと考えられるとの認識がからないと考えられるとの認識があるとの認識があるとの認識があるとの認識があるとの認識があるとの認識があるとの認識があるとの認識があるとの認識があるとのなどのはないと考えられるとのなどのはないと考えられるとのなどのはないと考えられるとのなどのはないと考えられるとのながあるとのながあるとのながあるとのなが	2-1	生徒間 教師	間の信頼関係	を深め、允美した:	生活が出来るように	行事の設定		
2-1       2年       84%       2年       90%       生徒と教師の信頼関係は十分出来ている         2-1       1年       87%       1年       83%       係は十分出来ている         2-1       教職員       87%       37%	質問項目番号	学年等		保護者教職員		総合評価		
2-1   1年   87%   1年   83%   係は十分出来ている     2-1   教職員   87%     2-2   学びやすく、生活しやすい環境整備のための施設設備の計画的改善     2-2   3年   70%   3年   67%     2-2   2年   73%   2年   79%     2-2   1年   76%   14年   66%     2-2   1年   71%   分との評価である     2-3   学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める     2-3   2年   86%   2年   88%     2-3   2年   86%   2年   88%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   1年   83%   1年   2年     2-3   1年   83%   1年   2年   2年     2-4   1年   66%   1年   58%   2年   2年   2年     2-4   1年   66%   1年	2-1	3年	80%	3年	82%			
2-1   教職員   87%     2-2   学びやすく、生活しやすい環境整備のための施設設備の計画的改善     2-2   3年   70%   3年   67%     2-2   2年   73%   2年   79%   関しては、若干不十分との評価である     2-2   1年   76%   1年   66%   分との評価である     2-3   学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める     2-3   3年   79%   3年   80%     2-3   2年   86%   2年   88%   連帯感の意識等に関しては十分と思われる     2-3   1年   83%   1年   83%   2ーは十分と思われる     2-3   1年   83%   1年   83%   2年   4世帯感の意識等に関しては十分と思われる     2-3   1年   83%   1年   83%   2年   2年   4世帯のの意識等に関しては十分と思われる     2-4   1年   66%   3年   62%   2年   4年   2年   65%   日であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる   2・6%   2・2を生徒が生徒会の一員であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てていると肯定的であると青定的であると青定のであると青定のであると青定のであると青定のであると青定的であると青定のであると青定のであると青定のであると青定のであると青定のであると青定のであると青定のであるとまた。     2-5   1年   80%   1年   71%   71%     2-5   1年   80%   1年	2-1	2年	84%	2年	90%	生徒と教師の信頼関		
2-2     学びやすく、生活しやすい環境整備のための施設設備の計画的改善       2-2     3年     70%     3年     67%       2-2     2年     73%     2年     79%     関しては、若干不十分との評価である       2-2     1年     76%     1年     66%     分との評価である       2-2     教職員     71%     分との評価である       2-3     学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める       2-3     3年     79%     3年     80%     連帯感の意識等に関しては十分と思われる       2-3     2年     86%     2年     88%     しては十分と思われる       2-3     1年     83%     1年     83%     1年     83%     2ーは十分と思われる       2-3     1年     83%     1年     83%     2年     2年     65%     2年     2年     65%     2年     2年     65%     2年     65%     2年     2年     65%     2年     65%     2年     65%     2年     65%     2年     65%     2年     66%     2年     <	2-1	1年	87%	1年	83%	係は十分出来ている		
2-2   3年   70%   3年   67%     2-2   2年   73%   2年   79%   環境整備、施設等に関しては、若干不十分との評価である     2-2   1年   76%   1年   66%   分との評価である     2-3   学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める     2-3   3年   80%   連帯感の意識等に関しては十分と思われる     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   2年   86%   2年   88%   しては十分と思われる     2-3   3年   90%   3年   2年   62%     2-4   1年   3年   62%   2年   全生徒が生徒会の一員であるとの認識がると自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動のよとの認識が少ないと考えられる     2-4   2年   67%   2年   65%   全生徒が生徒会の一員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てていうる意欲を育てないうる意欲を育てないうる意欲を育でないると肯定的であるとりましていると肯定的であるとりましていると肯定的であるとの言ないと考えられること方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方と方	2-1			教職員	87%			
2-2   2年   73%   2年   79%   環境整備、施設等に関しては、若干不十分との評価である     2-2   1年   76%   1年   66%   分との評価である     2-3   学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める     2-3   3年   80%   連帯感の意識等に関しては十分と思われる     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   2年   86%   2年   88%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   2年   86%   2年   88%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   2年   86%   2年   88%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-4   3年   62%   2年   全生徒が生徒会の意     2-4   2年   67%   2年   65%   全生徒が生徒会の一員であるとの認識談が少ないと考えられる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習     2-5   3年   82%   2年   82%   に対する意欲を育て     2-5   3年   80%   1年   71%   71%   71%     2-6   3年   74%   3年   73%   73%	2-2	学びやすく、	生活しやすい環	境整備のための	施設設備の計画的は			
2-2   2年   75%   関しては、若干不十分との評価である     2-2   1年   76%   1年   66%   分との評価である     2-3   学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める     2-3   3年   79%   3年   80%   連帯感の意識等に関しては十分と思われる     2-3   2年   86%   2年   88%   1年   83%     2-3   1年   83%   1年   83%   1年   83%     2-3   1年   83%   1年   83%   1年   1日	2-2	3年	70%	3年	67%	T==   45 = 56   ++		
2-2   1年 /6% 1年 /6% 3 株職員 71%   分との評価である     2-3   学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める     2-3   3年 79% 3年 80% 2年 88% 2年 88% 2-3 1年 83% 1年 83% 1年 83% 3年 90%   連帯感の意識等に関しては十分と思われる。     2-3   1年 83% 1年 83% 2-3 2年 86% 2年 88% 2-4 2年 65% 2-4 2年 67% 2年 65% 2-4 2年 67% 2年 65% 2-4 2年 66% 1年 58% 2-4 2年 4 2年 66% 1年 58% 2-4 2年 82% 2-5 1年 80% 1年 71% 2-5 2-5 3年 74% 3年 73% 2-6 3年 74% 3年 73% 2-6 2年 80% 2-6 1年 80% 1年 72% 人間関係の育成に関しておおむね肯定的     2-6   2年 78% 2年 80% 2年 80% 人間関係の育成に関しておおむね肯定的	2-2	2年	73%	2年	79%			
2-2   教職員   71%     2-3   学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める     2-3   3年   80%     2-3   2年   86%   2年     2-3   1年   83%   1年     2-3   1年   83%   1年     2-3   2-4   社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動     2-4   3年   62%   全生徒が生徒会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動     2-4   2年   67%   2年   65%   員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-5   入間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的である     2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   2年   82%   に対する意欲を育て     2-5   2年   82%   に対する意欲を育ていると肯定的であると同意のである     2-5   3年   74%   3年   73%     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむむおむおむおむおむおおむおむおむおむおおむおむおむおむおむおむおむおむ	2-2	1年	76%	1年	66%			
2-3   3年   79%   3年   80%     2-3   2年   86%   2年   88%     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   数職員   90%     2-4   社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動     2-4   2年   67%   2年   65%     2-4   2年   67%   2年   65%     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的であると同認能が少ないと考えられる     2-5   1年   80%   1年   71%	2-2			教職員	71%	77 = 47		
2-3   2年   86%   2年   88%   連帯感の意識等に関しては十分と思われる     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   教職員   90%   36     2-4   社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動   2-4   2年   65%   全生徒が生徒会の一員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   1年   1年   1年     2-4   1年   1年<	2-3	学校行事を追	通じて、協調性·	責任感·自主性·	連帯感を育成し学校	生活の意欲を高める		
2-3   2年   88%   しては十分と思われる     2-3   1年   83%   1年   83%     2-3   教職員   90%     2-4   社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動     2-4   3年   62%   3年   62%     2-4   2年   65%   員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%     2-4   数職員   66%     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育て     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育て     2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的であるとの認識談が少ないと考えられる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育て     2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的であるとの認識談が少ないと考えられる     2-5   2年   82%   1年   71%   ていると肯定的であるとの認識談が少ないと考えられる     2-5   2年   80%   1年   71%   ていると肯定的であるとの記職が少ないと考えられる     2-5   3年   36%   3年   73%   3年     2-6   3年   74%   3年   73%   3年   3年     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむむね肯定的	2-3	3年	79%	3年	80%	**************************************		
2-3   1年   83%   1年   83%   3     2-4   社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動     2-4   3年   62%   2年   65%     2-4   2年   67%   2年   65%     2-4   1年   66%   1年   58%     2-4   1年   66%   1年   58%     2-4   数職員   66%     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てていると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   2年   80%   1年   71%	2-3	2年	86%	2年	88%			
2-3   教職員   90%     2-4   社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動     2-4   3年   62%   全生徒が生徒会の一員であるとの認識が2-4     2-4   2年   65%   員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%     2-4   4   教職員   66%     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的であると句に対する意欲を育てないると肯定的であると句に対する意欲を育てないると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てないると肯定的であると句に対する意欲を育てないると肯定的であると句に対する意欲を育てないると肯定的であると句に対する意欲を育てないると肯定的であると句に対する意欲を育ないると肯定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を育ないると自定的であると句に対する意欲を言ないると自定的であると句に対する意欲を含むないると言ないると言ないると言ないると言ないると言ないると言ないると言ないると言	2-3	1年	83%	1年	83%			
2-4   3年   62%   3年   62%     2-4   2年   67%   2年   65%   会生徒が生徒会の一員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-4   教職員   66%   66%     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的であると句を対する意欲を育てないると肯定的である。     2-5   1年   80%   1年   71% <td< td=""><td>2-3</td><td></td><td></td><td>教職員</td><td>90%</td><td>0</td></td<>	2-3			教職員	90%	0		
2-4   2年   65%   全生徒が生徒会の一員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   1年   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-4   教職員   66%   かないと考えられる     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的であると句をであるとのとのと言葉を言葉を言葉を言葉と言葉を言葉を言葉と言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言葉を言	2-4							
2-4   2年   60%   2年   65%   員であるとの認識が少ないと考えられる     2-4   教職員   66%   1年   58%   少ないと考えられる     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てないると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てないると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   2年   80%   1年   71%   ていると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   2年   82%   に対する意欲を育てないると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   2年   82%   に対する意欲を育てないると肯定的であるとの認識が少ないと考えられる     2-5   48%   48%   85%   48     2-6   3年   74%   3年   73%   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむむおむおむおおむね肯定的	2-4	3年	62%	3年	62%	^ + <i>+ + i + + </i> ^ ~		
2-4   1年   58%   少ないと考えられる     2-4   教職員   66%     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習に対する意欲を育てる     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育てていると肯定的である     2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的である     2-5   数職員   85%   3     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的	2-4	2年	67%	2年	65%			
2-4   教職員   66%     2-5   人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる     2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育て     2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的である     2-5   教職員   85%   85%     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的	2-4	1年	66%	1年	58%			
2-5   3年   79%   3年   77%   部活動の指導や学習     2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育て     2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的である     2-5   教職員   85%   3     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的     2-6   1年   80%   1年   72%   しておおむね肯定的	2-4			教職員	66%	7 40 C 47 C 51 0 0		
2-5   2年   82%   2年   82%   に対する意欲を育て に対する意欲を育て ていると肯定的である。     2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的である。     2-6   部活動を通じて、広く豊かな人間関係の育成     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的     2-6   1年   80%   1年   72%   しておおむね肯定的	2-5	人間形成を	主として部活動の	の指導し、学習や	進路に対する意欲を	育てる		
2-5   1年   80%   1年   71%   ていると肯定的である     2-5   教職員   85%     2-6   部活動を通じて、広く豊かな人間関係の育成     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的     2-6   1年   80%   1年   72%   しておおむね肯定的	2-5	3年	79%	3年	77%	部活動の指導や学習		
2-5   教職員   85%     2-6   部活動を通じて、広く豊かな人間関係の育成     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的	2-5	2年	82%	2年	82%			
2-6   部活動を通じて、広く豊かな人間関係の育成     2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的	2-5	1年	80%	1年	71%			
2-6   3年   74%   3年   73%     2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的	2-5			教職員	85%	රි		
2-6   2年   78%   2年   80%   人間関係の育成に関しておおむね肯定的     2-6   1年   80%   1年   72%   しておおむね肯定的	2-6	部活動を通し	て、広く豊かな	人間関係の育成				
2-6 1年 80% 1年 72% しておおむね肯定的	2-6	3年	74%	3年	73%			
	2-6	2年	78%	2年	80%	人間関係の育成に関		
2-6 教職員 89%	2-6	1年	80%	1年	72%	しておおむね肯定的		
	2-6			教職員	89%			

## 3. 学習指導3項目

基礎基本を大切に、基礎学力の充実・定着、授業の充実、評価の適正化を目指し 総合的に評価する。

3-1 生徒の理解度に合わせて教材を工夫し、学習意欲を喚起する授業

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
3-1	3年	75%	3年	75%	1年の保護者の評価
3-1	2年	83%	2年	74%	が64%と低い、他は
3-1	1年	78%	1年	64%	70%台であるが、工夫
3-1			教職員	82%	の必要性がある
3-2	定期考查·授	業中の態度・提	是出物等総合して	評価	
3-2	3年	86%	3年	90%	
3-2	2年	88%	2年	89%	評価に対しては満足
3-2	1年	88%	1年	89%	であると肯定的
3-2			教職員	95%	
3-3	基礎学力の	充実·自発的•積	責極的な学習態度	の育成	
3-3	3年	71%	3年	75%	<b>労羽を本に対して</b>
3-3	2年	84%	2年	82%	学習態度に対して は、まだ指導すべき
3-3	1年	81%	1年	67%	である
3-3			教職員	74%	

### 4. 生徒指導5項目

社会人へ成長するために必要なマナー、社会的ルール、基本的生活習慣を身に付け、自他の人格を尊重する精神の育成

4-1 学校生活の規則の遵守・自他の人格を尊重する精神の育成

4-1	字校生活の	現則の遵守・目	他の人格を尊重す	「る精神の育成			
質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価		
4-1	3年	75%	3年	82%			
4-1	2年	84%	2年	82%	規則に関しては肯定		
4-1	1年	83%	1年	77%	]的		
4-1			教職員	87%			
4-2	個別的·集団	的指導を通して	て、基本的な生活	習慣を身につけるさせ	せる		
4-2	3年	75%	3年	77%	生活習慣に関しては肯		
4-2	2年	84%	2年	87%	定的、まだ基本的生活		
4-2	1年	86%	1年	79%	習慣に関しては指導を		
4-2			教職員	93%	徹底する必要がある		
4-3	人間としての	マナー・社会的	ルールを守ること	の大切さを理解させ	3		
4-3	3年	73%	3年	79%	ルールに関しては肯		
4-3	2年	83%	2年	85%	定的、電車内でのマ		
4-3	1年	88%	1年	81%	ナー、下校時の指導		
4-3			教職員	93%	の徹底が必要である		
4-4	高校生として	、ふさわしい服	装·頭髪等の指導	の徹底			
4-4	3年	78%	3年	82%			
4-4	2年	86%	2年	88%	服装・頭髪の指導は		
4-4	1年	87%	1年	83%	厳しく指導している		
4-4			教職員	92%			
4-5	4-5 他者の痛みを思いやる力・相手の立場に立って考える力・自分の感情をコントロール力を養						
4-5	3年	74%	3年	74%	感情のセルフコント		
4-5	2年	81%	2年	82%	ロールの出来ない生		
4-5	1年	79%	1年	74%	]徒に対する対応も大		
4-5			教職員	73%	事である		

# 5. 進路指導3項目

進路について自分の可能性に挑戦する意欲・個性・能力・興味・関心に応じた進路を考えさせ、適切な指導をする。

5-1 進路について考えさせ、自分の可能性に挑戦しようとする意欲を育てる

	3 一   進路にプバで考えさせ、日方の可能性に挑戦しよりとする意欲を育てる					
質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価	
5-1	3年	85%	3年	84%	1年保護者以外肯定	
5-1	2年	85%	2年	87%	的、1年生にも情報提	
5-1	1年	86%	1年	73%	供を積極的にする	
5-1			教職員	82%	一次で 信息 ロコーラ る	
5-2	個性·能力·	興味・関心に応	じた進路を考えさ	せ、目標を持たせて	努力させる	
5-2	3年	85%	3年	85%		
5-2	2年	86%	2年	83%	おおむね肯定的であ	
5-2	1年	86%	1年	70%	る	
5-2			教職員	89%		
5-3	生徒一人ひと	とりの進路希望	実現に向け、適切	な指導をする		
5-3	3年	86%	3年	89%		
5-3	2年	85%	2年	83%	肯定的である	
5-3	1年	84%	1年	72%	H VEH J COJO	
5-3			教職員	87%		

項目	重点目標	取組状況·成果·課題	評価	改善策	学校関係者評価(外部評価)の意見
	一人一人を大切に	校訓・教育目標について、機会ある毎 に説明		本学園の教育目標の理解の徹底	1年入学時の指導をきめ細かく指導している。
教育目標	個性や可能性を伸ばす	あいさつ運動等の励行,正しい服装の 指導	Α	あいさつ運動、礼儀·躾を身に付け させる指導の徹底	命の大切さの指導もよくしている。通学マナーの指導では、毎朝の立ち番、校門指導している。下校時も指導必要では?
	誠実·礼儀・責任感の強い人 材育成	朝の校門指導、登下校通学指導の徹 底		遅刻の減少、8:30までに登校する	挨拶が良くできている。特に部活の生徒は評価でき る。遅刻が減少してきている。
	学校生活が楽しく感じること	学年スポーツ大会、春・秋の校外学習・体育大会・文化祭等学校行事を通じて楽しんで参加し、充実感を味わえるように取り組む		北校舎内装について、完了した。	部活動の指導において、改善が見られるが、より一層 の改善を期待する。
学校生活	行事等に積極的に参加でき る体制作り	施設設備に関して、計画的に改善	В	地域のイベントに行事等考え積極的に参加していく	清掃活動や家庭との連携を深めて家庭教育のお願い を深める。地域とふれ合いを深めていくうえで、生徒に 参加、教室等を貸してほしいとの意見がある。
	生活しやすくする環境、施設 設備の改善	特に命に関わることは、最優先で実施		部活動において、根気よく指導、体 罰での指導は皆無で指導する。	生徒が外でも礼儀正しく、するように指導している。 徐々に成果が出ている。
	部活動を通して、人間関係の 育成			危険な箇所の改善	生徒の模範となる教師としての姿勢を示してほしい、 登校指導においての先生の姿勢が問題。
	生徒の実情に合わせて、教 材を工夫	1年時において、基礎学カテストを実施		補習等の実施、長期休暇中の実施と学習内容の徹底。春休み中の淡路での勉強合宿2年目実施。	全体の取組に関して、良く理解出来る。
	学習意欲を喚起する工夫	2・3年生でも実施、学力の伸長を見 極める		年2回の保護者懇談会において、三 者の相互理解と生徒の進路に向け て、可能な限り早期の決定	進路実績が、上がってきているのは良くわかるが、もう 少し広報してほしい。
学習指導			В	学習面において、根気良くできる様	学習理解度の全体の底上げをもう少し期待する。
	評価の付け方の徹底	補習を積極的に実施		基礎学力の充実のため、1年の中間考査までに中学の復習も含めて	進路に向けた、先生方の一体感もあと少しほしいとこ ろである。
	基礎学力の充実	春季休暇中の勉強合宿実施		実施	
	校則を守り、自他の人格を尊 重	さまざまな教育場面において、基本的 生活習慣を身に付ける指導。		社会生活の一員として、人間として、 マナーを守る必要性について指導	生徒指導の徹底は出来ている。
生徒指導	集団的指導を通して、基本的 生活習慣の徹底	毎朝の校門指導における、服装・挨 拶の指導の徹底	Α	感情のコントロールする力の養成	通学マナー等のマナーが悪い者がいるのが残念である。外部からの苦情がある
	非行等に繋がる	自分感情のコントロール出来るように 日々指導		外部からの苦情等に対して即対応 し、生徒を指導する	下校時の道を広がって歩くマナーの悪いのがいるのが寂しい。
	将来について、考えさせる意 欲	就職希望に対して、面接指導等の徹底。		進路の目標・方向を早く決定させる	卒業生からは、良い印象もあるが、今の生徒は全体 的に学習面では根気が無いのが見られる。
進路指導	目標を持たせる	進路に向けて、ベネッセのファインシ ステムにより、指導の連続性の維持	В	就職・進学について、後輩の為にも 頑張っているという見本を見せる自 覚を持たせる	進路がイダンスで、進路を1年時から考えさせるのは非常に素晴らしい。
	進路実現に向け適切な指導	就職者の、追跡調査、進学者等の追 跡調査の徹底		補習等の実施、長期休暇中の実施 と学習内容の徹底	学びのトレーニング(マナトレ)で基礎基本の徹底を 図っている。